

技術教育専修

授業科目名	担当者	講義概要
学校教育論	岡谷英明	現代学校の課程を理論的に解明することを目的とする。変貌する社会の中で教育システムがどのように編成されるべきかを考える。
学校経営論	平井貴美代	学校の経営過程や組織的特性に関する基本的事項について学習するとともに、開かれた学校づくりや学級崩壊など、最近とくに話題となっている問題についてアプローチするための視点や方法を検討する。 テキスト使用：『新版 学校教育の基礎知識』（協同出版）
生徒指導論	高柳真人	児童・生徒の自己指導能力を育てながら、その自己実現を援助するというガイダンスの視点に立った生徒指導を進めていくための理論や方法について学ぶ。
学習指導論	馬場園陽一	自ら学ぶ意欲や考える力の育成を目指す授業の方法、一人一人の児童生徒の良さを生かす授業の方法、さらにはこれらの力の育成を目指した教育評価の方法について、その理論的側面を探り、学習指導への実践的なアプローチを試みる。また、新しい学力観のもとで実践されている様々な授業方法（例えば、体験学習、総合学習、問題解決的学習、コース別学習、T・T等）についても紹介し、学力形成との関係を論じる。
教育相談論	金山元春	教育相談は、人間関係の営みの中で行われる実践活動である。本授業では、受講生の人間関係能力の開発を通じて、教育相談の実践力の向上をはかる。具体的には、グループワークを活用し、自己理解、他者理解を深めたり、社会的スキルを学んだりする機会を提供する。講義については、実践経験豊富な研究者あるいは実務家でありながら学会等で活躍されている方の研究成果を上げる。
情報演習Ⅰ	中西 秀男	高度情報化社会に積極的に対応できる情報処理の基礎能力を身に付けた教員の養成を目的として、コンピュータとソフトウェアの基本操作並びにネットワークの利用方法に関する演習を行う。情報演習Ⅰでは、Windowsの基礎、電子メール、文書処理及び表計算などよく利用される機能を中心に基本操作に重点を置いて演習する。
情報演習Ⅱ	赤松 直	ある程度習熟した人を対象に、コンピュータの活用能力、情報処理に関する総合力を身に付けることを目的として演習を行う。内容は、ネットワークの設定およびその基礎知識の習得、ホームページ作成、各種ソフトウェアの活用などである。これらを通して、情報化社会の課題や情報リテラシ教育についても一緒に考えることにする。 自前のノートパソコンを携行願いたい。
技術科教育特論Ⅰ	増尾慶裕	技術科教育における理論と実践の統合を図る観点から教育実践学を論じ、認知的アプローチにより学習指導方法の工夫について考察する。
技術科教育特論演習Ⅰ	増尾慶裕	技術科教育における認知的アプローチにより学習指導方法を構築し、それを展開するための教材・教具の開発を行う。
技術科教育特論Ⅱ	道法浩孝	技術科教育における教材及び授業研究について論じ、技術科教育の在り方を総合的に考察する。
技術科教育特論演習Ⅱ	道法浩孝	技術科教育における教材論及び授業研究に関する文献の講読と授業を効果的に行うための教材・教具の開発を行う。
電気工学特論Ⅰ	中西秀男	電気計測、光学計測について講義を行う。半導体材料・デバイスの電氣的・光学的特性の計測技術を中心に講義を進め、信号処理と制御、データ処理等について理解させる。

技術教育専修

授業科目名	担当者	講義概要
電気工学特論演習 I	中西秀男	半導体の電気特性、光学特性の計測に関する文献の講読と演習を行う。また、実験に関する知識も併せて習得させる。
機械工学特論	裏垣 博	工業用材料及び構造物の非破壊計測について講義する。非破壊計測法として超音波探傷試験等について理解させる。
機械工学特論演習	裏垣 博	非破壊計測に関する文献の講読と演習を行う。計測工学実験に関する知識も併せて習得させる。
情報工学特論	斎藤卓也	従来の解析的手法では解決困難な問題に対する数値シミュレーション的アプローチを学び、いくつかの代表的な物理モデルを議論する。
情報工学特論演習	斎藤卓也	いくつかの代表的な数値計算アルゴリズムを習得し、実際の物理的モデルに対してフォートランやC言語を用いたプログラミングを実践する。並列・ベクトル大型計算への応用も考える
木材加工特論	増尾慶裕	木材加工法のトピックスを、切削加工、乾燥加工、曲げ加工、接着加工について、それぞれの加工のメカニズム、また使用される加工機械の特徴と関連させ講義する。
材料加工特論	増尾慶裕	材料加工について講義を行う。主として金属材料の精密加工を中心に講義を進め、工作機械・工具の動特性、構造材料の接着剛性について理解させる。
技術科教育実践研究 I	増尾・道法	技術科教育における学習者が理解しやすい学習指導方法を構築し、附属校等における授業研究等を通じて、その課題解決方法を実践的に考察する。
技術科教育実践研究 II	中西・裏垣	附属学校や協力校で行われている授業の記録及び授業資料のデータベース化を推進し、教材開発や研究教育に対する支援システムの開発能力を実践的に習得させるよう指導する。
技術科教育実践研究 I (長期インターンシップ)	増尾・道法・中西・裏垣	附属校園等において専修指導教員及び実習校指導担当者のもと、教材開発、学級経営、児童生徒の観察、子どもとのふれあいにもとづく単元計画作成、または、LD、ADHD、不登校、乳幼児等子どもの観察にもとづく実習計画作成を行い、実践的な課題研究テーマ設定の基盤を形成する。さらに、単元計画の実施、研究会への参加、公開研究授業、または、事例研究会への参加、ケース参加の実施を行い、結果を関連分野の研究方法に基づき省察することを通して、高度な専門知識・能力に裏付けられた実践的指導力を育成する。
技術科教育実践研究 II (長期インターンシップ)	増尾・道法・中西・裏垣	
課題研究	中西・裏垣・増尾	各学生に研究課題を設定し、文献調査及び研究遂行を通して、技術科教育における高度の専門的知識及び自ら研究する能力を習得させるよう指導する。